

== 関係部署にご回覧下さい ==

LPGC Report

エルピーガス振興センターレポート

第32号 January 2007

トピックス

- ・理事長新年挨拶…………… 1
- ・平成19年度予算の概要…………… 2

プロジェクトニュース

- ・DME燃料の海外向け広報活動について…………… 3

各部・室からのお知らせ

- ・広報室 18年度液化石油ガス懇談会開催報告及び概要について…………… 5
- LPガスべり帳61号の紹介…………… 6
- ・調査研究部 LPガス国際セミナー2007 開催案内…………… 7
- LPGC仕様バルク・シリンダー共通フォーマットについて…………… 8
- ・設備助成事業室 補助金交付状況…………… 9

事務局からのお知らせ

- ・平成18年度第二回通常理事会・評議委員会の開催案内…………… 11
- ・平成20年度新規事業テーマ募集について…………… 11
- ・事務所の改装について…………… 11

- 編集後記…………… 12

トピックス

理事長年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

エルピーガス振興センターは、皆様方からのご支援・ご協力を賜りまして、昨年も各種事業の円滑な取り組みを行うことができました。厚く御礼申し上げますとともに本年も、引き続きまして宜しくお願い申し上げます。

行政改革の一環として進められてきています公益法人改革の流れの下で、昨年度に当センターが計画しました事業に対しても公募制が導入され、その結果、一部の事業で当初計画からの変更を余儀なくされました。しかし、大略は当初計画に沿って事業を実施することができ、目下所期の成果を得るよう取り組みを進めております。

当センターの事業は、大きく「技術開発」「調査研究」「普及啓発」「国際協力・交流」「設備助成」の5事業と「広報」活動であります。これらをいずれも4-3月という年度ベースで実施していますので、この新年からの3ヶ月間は、着手中の2006年度事業の完遂を目指した取り組みを着実に進めることが重要であります。2月に開催予定のLPガス国際セミナー2007につきましても、年々好評を頂いており、今年も、皆様方からのご期待に沿えるよう、充実したものにしたいと思っております。

一方、4月から始まる2007年度につきましても、公益法人改革関連法の成立を受けて、当センターの事業も大きな影響を受けることから、目下のところ不確定要素が多い状況にあります。その主なところは、設備助成事業がセンター事業から完全に離れる見通しであることや、各種計画事業に対する公募制の適用が拡大・本格化すること等です。これらにより、当センターの2007年度は、事業予算の大幅縮小と共に、計画事業の実施の有無に関する不確実性が高まることが予想されます。このような状況に鑑み、センターでは2007年度からは事務所を縮小して経費節減を図ると共に、計画中の各種事業の公募制への適確な対応を図るべく内容の充実に努め、センターに求められる本来使命の遂行に向け全力を傾けて行く所存であります。会員の皆様方には、引き続き当センターの事業・活動に対しまして、何とぞご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

新しい年が皆様にとりまして、実り多い年であることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



平成19年度予算の概要

昨年末、財務省より平成19年度政府予算案が各省に提示され、その中でLPガス関係の予算概要は、次の通りとなっています。

今年度より、事業の委託先等の選定については原則公募制のもとでの競争入札手続きが適用されることとなります。当センターとしても、これまで実施してきた事業を継続するとともに、新たな事業を実施することとなります。

| | 〔19年度 内示額〕 | 〔18年度 予算額〕 | 〔増減〕 |
|-------------------------|---------------|---------------|-----------|
| 1. 流通合理化関係 | | | |
| 石油ガス流通合理化対策事業 | 1,294 | 1,582 | 288 |
| 内、石油カガス充てん所統廃合支援事業 | (-) | (180) | (180) |
| 内、石油カガス国際交流事業 | (23) | (29) | (5) |
| 石油ガス利用設備導入促進事業 | 594 | 621 | 26 |
| 内、石油ガスコジェネ導入促進事業 | (61) | (110) | (49) |
| 石油ガス流通合理化対策調査 | 585 | 706 | 121 |
| 内、石油ガス流通合理化調査 | (86) | (113) | (26) |
| 計 | 2,473 百万円 | 2,908 百万円 | 435 百万円 |
| 2. DME燃料実用化・LPガス供給多様化関係 | | | |
| DME燃料実用化普及促進研究委託費 | 216 | 292 | 76 |
| DME燃料利用機器開発事業 | - | 296 | 296 |
| 石油ガス合成技術開発事業 | - | 156 | 156 |
| 計 | 216 百万円 | 744 百万円 | 528 百万円 |
| 3. 燃料電池関係 | | | |
| 高耐久性メンブレン型LPガス改質装置開発事業 | 90 | 100 | 10 |
| 計 | 90 百万円 | 100 百万円 | 10 百万円 |
| 4. LPガス保安対策関係 | | | |
| 石油ガス供給事業安全管理技術開発等委託費 | 684 | 835 | 151 |
| 計 | 684 百万円 | 835 百万円 | 151 百万円 |
| <hr/> | | | |
| LPガス産業関係 合計 | 3,463 百万円 | 4,587 百万円 | 1,124 百万円 |
| 5. なお、上記の他に | 185.5 億円 | 122.5 億円 | 63.0 億円 |
| 高効率給湯器導入支援事業 | 9.9 | 9.9 | 0.0 |
| LPガス国家備蓄の推進 | 170.6 | 110.8 | 59.8 |
| LPガス民間備蓄の推進 | 5.0 | 1.8 | 3.2 |

(注) 上記の内、印は平成18年度において当センターが直接あるいは間接に受託し、実施している事業。

プロジェクトニュース

DME (ジメチルエーテル)燃料の海外向け広報活動について

エルピーガ振興センターは、国の委託事業である「DME燃料実用化普及促進研究」の広報活動の一環として、DME関係の専門家の方々の協力を得て、昨年10月上旬に「海外向けのDMEビデオ(英語版)」を制作しました。早速、この成果物を10月18日から20日にかけて開催された第19回世界LPガスフォーラム(アメリカのシカゴ市で開催)の展示場で、世界の各国から参加された300名以上のLPガス関係者を主とする人々に公開いたしました。

参加者の多かった国は、以下の通りです。

| | |
|-------------------|--|
| 北米)アメリカ合衆国、カナダ | 中南米)アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、メキシコ等 |
| 中東)イスラエル、ヨルダン等 | 欧州)クロアチア、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、スペイン、ポーランド、英国、トルコ等 |
| オセアニア)豪州、ニュージーランド | アフリカ)南アフリカ、カメルーン等 |
| アジア)中国、韓国、インド、日本 | |

このビデオは、DMEについての誰にでも分かるように制作していますので、ブースに来られた多くの見学者から、大変分かり易いという評価をいただきました。

まだ馴染みは薄い感じでありましたが、全般的に関心は高く、

- 1)DMEって何だ？
- 2)もう生産しているのか？
- 3)圧力は？
- 4)プロパンと同じか？
- 5)何から作るのか？
- 6)価格はどうなるのか？プロパンより安いのか？

等の質問がかなりありました。

目立ったところでは、

米国カリフォルニア州の関係者からは、

「カリフォルニア州は環境規制が非常に厳しく、ディーゼル自動車もいずれ規制されると考えられるので、同州でDME自動車のデモンストレーションをやってくれないか」

とのリクエストがありました。

トルコのAYGAZの関係者から

「DMEの諸規制がアジア、欧州で分かれているが、一度、アジアと欧州とのワークショップを設けてはどうか」と提案がありました。

全体を通しては、LPガスによく似た物性を持つDMEという新しいクリーンな燃料があるということが分かって大変参考になったという評価もいただくことができました。今後も積極的に海外向けのPRを行う予定です。



振興センターのブースの全景



来客に対応しているところ

この海外版DMEビデオの内容はおよそ以下の通りです。

1. 放映時間 : 約6分30秒
2. 内容の構成 : DMEとはどんなエネルギー？
何故、DMEが注目されるようになったのか？
DMEは、何から製造されるのか？
DMEは、どんな用途に使われるのか？
我が国では今まで、どのような実用化研究に取り組んできたか？
エルピーガス振興センターのDME実用化のための活動は？

代表的な画面をいくつか紹介します。



ビデオのトップ画面



DMEは色々なソースから
自由に製造できます



DMEが注目される理由



北海道の実証プラント



DMEトラックの実車走行テスト



きれいな排気ガスの
DME自動車



実証試験中のディーゼル発電機



エルピーガス振興センターの
DME実用化研究

現在、日本国内向けのDMEビデオを制作中です。まもなく、皆様にご披露できる予定です。
DME燃料の普及促進のために、積極的にご活用下さい。

『お問い合わせ先』

(財)エルピーガス振興センター技術開発部 Tel 03-3507-0041
Fax 03-3507-0048

各部・室からのお知らせ

広報室

< 18年度液化石油ガス懇談会開催報告及び概要について >

液化石油ガス懇談会は、「LPガスの流通及び取引の適正化に関する諸問題について、消費者、販売業者、学識経験者、行政関係者からなる懇談会を開催し、関係者に対しLPガス産業の現状と課題等についての情報提供を行うと共に、関係者間でLPガスを巡る意見交換を行い、もってLPガス産業の健全な発展に資する。」ことを目的に開催しています。

今年度も9月の中央懇談会を皮切りに、全国各会場で、活発な意見交換が行われました。



1. 液化石油ガス懇談会開催日程(中央懇談会、地方懇談会9地区)

| (開催順) | 開催日 | 開催場所 |
|----------|-----------|---------------|
| 中央懇談会 | 9月 8日(金) | 虎ノ門パストラル |
| 東北経済産業局 | 10月11日(水) | 法華クラブ仙台 |
| 北海道経済産業局 | 10月19日(木) | 釧路全日空ホテル |
| 沖縄経済産業部 | 11月 2日(木) | 沖縄総合事務局会議室 |
| 中国経済産業局 | 11月 9日(木) | 広島ガーデンパレス |
| 中部経済産業局 | 11月10日(金) | クレール名駅 |
| 近畿経済産業局 | 11月15日(水) | 阪急ターミナルビル |
| 九州経済産業局 | 11月20日(月) | 福岡県中小企業振興センター |
| 関東経済産業局 | 11月24日(金) | 虎ノ門パストラル |
| 四国経済産業局 | 11月30日(木) | 四国経産局会議室 |

2. 消費者委員からの主な質問、意見

(1) LPガス価格関連

- ・基本料金、従量料金など料金内容が不透明、との意見があるが業界の今後の対応についてお聞きしたい。
- ・都市ガスに比べ価格が高い。
- ・価格表が配布されていないケースがある。業界の対策をお聞きしたい。

(2) 売買契約関係

- ・契約解約時の設備(配管)撤去に関するトラブルが多い。販売事業者は、常日頃から消費者とのコミュニケーションをとり、契約内容を明確化してほしい。
- ・14条書面の交付が徹底されていない。業界の対策をお聞きしたい。

(3) 保安関係

- ・パロマの事故に関連して、リコールの仕組みを確率するなど、消費者の安全を守る対策を至急整備して欲しい。
- ・今後の高齢化社会に対応していくための、高齢者がLPガスを安全に使用するための対策を講じて欲しい。

(4) 供給(原油需給、価格関連)

- ・原油高騰に伴い、LPガス価格も上昇しているが、今後のLPガスの供給、価格見通しについてお聞きしたい。
- ・LPガスの安定供給は大丈夫なのかお聞きしたい。

(5) 災害対策

- ・風水害、地震などの災害時に避難拠点になる施設に、常日頃から災害に強いLPガスを導入すべく、設備設置の促進をして欲しい。
- ・LPガスが災害に強いことを、特に都市ガスの消費者は理解していない。もっとPRしたらいいと思う。

(6) その他

- ・電力会社のオール電化攻勢に対する、LPガス業界の対応策はどうなっているのか。
- ・低公害のLPG車の普及についてその進捗状況を教えて欲しい。

3. 業界他からの主な回答

- ・基本料金と従量料金の明確な表示が徹底されていない点については、業界として今後とも一層の周知徹底を図りたい。また、料金表の確実な配布についても徹底していきたい。
- ・販売事業者は、設備の所有区分や、配管の撤去の費用負担など、契約内容について明確にすべく、後とも消費者とのコミュニケーションを取ってきたい。
- ・パロマの事故に関しては、消費者の安全確保のため、経済産業省を中心に対策を検討している。今後、事故情報の円滑な開示や、迅速な安全対応体制を確立していきたい。
- ・原油価格高騰で、LPガス価格も上昇しているが、業界としてより合理化を進めコスト削減努力をし、価格も抑制していきたい。
- ・災害対策については、自治体との防災協定の締結などをすすめ、迅速な対応ができる体制を整えていきたい。また、国の補助金を活用するなどし、常設のLPガス使用設備を増やしていくことも非常に重要だと認識している。
- ・オール電化攻勢に対しては、LPガスは環境に優しいことなどのPRや、料理講習会などのイベントの充実等で、LPガスをなお一層理解していただくことで対抗していきたい。
- ・LPG車については、低公害車という位置付けで、増車目標を決め、業界挙げてディーゼル車からの転換などを推進している。

主として以上のような意見交換がありました。この内容を参考に、今後各部門での対策・対応が望まれます。

<LPガスべんり帳61号の紹介>

広報室では、LPガスをお使いの一般消費者向け啓蒙活動の一環として各種パンフレットを発行していますが、今回はデザインを一新し、新企画を導入した「LPガスべんり帳」の最新号をご紹介します。

小誌最新号(61号)は平成18年11月末に発行され、LPガスの様々な分野での活躍を紹介する「LPガスのこないいはなし」、ライフスタイルに信念のある著名人の生活と関連したLPガスの魅力を紹介する「MY LIFESTYLE」、そしてLPガスに係わる情報を掲載する「Information」として、CO(一酸化炭素)中毒防止について、平成18年度の「液化石油ガス懇談会」の開催案内、「供給設備の無断撤去」問題などを掲載しています。

『LPガスのこないいはなし』

生協宅配サービストラックのLPG車への切替を紹介
(5年計画でディーゼル車からの切替を完了し、配送トラックの低公害化を推進:東京の生活協同組合を取材)

『MY LIFESTYLE』

料理研究家 茨木くみ子さんへのインタビュー
ノンオイル・ノンバターで作るパン、お菓子、料理を通じて健康面や親子の絆を育む家庭料理の大切さと共に、LPガスオーブンの火力の強さを紹介。

『Information』

- ・CO(一酸化炭素)中毒防止について
屋内設置型ガス瞬間湯沸器でのCO中毒事故に関連して、換気や機器の点検の必要性を紹介。
- ・平成18年度の「液化石油ガス懇談会」の開催
LPガスの流通や取引の適正化に関して消費者、販売事業者、学識経験者、行政関係者が一同に会して意見交換を行う「液化石油ガス懇談会」の開催についての案内。
- ・LPガス設備を取り外す(撤去する)場合のご注意
消費者が販売店の変更や他燃料へ切り替える場合の供給設備の撤去に関して、消費者自身から取引を止めたい旨連絡することがトラブルを防ぐうえで有効であることのお知らせ。



調査研究部

<LPガス国際セミナー2007 開催案内>

当センター恒例の国際交流事業の一環であります国際セミナーにつきましては、本年度も『LPガス国際セミナー2007』としまして、下記にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回は、『変化が予想される世界のLPガス需給動向 - 生産見通しと需要開拓』を主テーマとして、中東のLPガス主要輸出国およびアジアのLPガス主要消費国並びにLPガス関係機関・団体等から多くの方々にプレゼンテーションしていただく予定にしておりますので、皆様方の積極的なご参加をお願い致します。

なお、22日のセミナー終了後に歓迎レセプションを開催致しますので、多数の方々にご参加頂きたく、併せてご案内申し上げます。

【セミナー開催概要】

1. 開催日 : 平成19年2月22日(木) 9:30 - 19:40
23日(金) 9:00 - 12:30

2. 場 所 : 第一ホテル東京(新橋) 5階 「ラ・ローズ」
東京都港区新橋1-2-6 電話:03-3501-4411

3. 内 容 : 主テーマ : 『変化が予想される世界のLPガス需給動向 生産見通しと需要開拓』
スケジュール概要 : (現在1月末を目途に調整しておりますので、確定次第、当センターホームページ(www.lpgc.or.jp)に掲載する予定にしております。)

第一日目 2月22日(木)

〔セミナー〕 9:30 - 17:30 (受付開始 9:00)

第一部 基調講演(パービン&ガーツ社を予定)

第二部 日本側の講演

第三部 海外招聘者の講演(WLPGA、アジアの主要消費国を予定)

第四部 海外招聘者の講演(中東産ガス国を予定)

〔歓迎レセプション〕 17:40 - 19:40

第二日目 2月23日(金)

〔セミナー〕 9:00 - 12:30 (受付開始 8:30)

第五部 海外招聘者の講演(中東以外の産ガス国、海運等を予定)

第六部 総括質疑応答

通訳 : 日英中韓 同時通訳付き

4. 参加料 : 無料

5. 申込み : 別途ご案内申し上げます

< LPGC仕様バルク・シリンダー共通フォーマットについて >

平成15年度より開始した本事業は、多くの皆様のご協力を得て平成17年度にシステムを完成させることができました。

LPガス業界にはデータ交換のための統一したシステムが存在しない

当初、バルク供給の普及拡大を図るにあたり、配送交錯配送を解消するために、調査をスタートさせました。LPガス業界には、共同充てん・配送に必要な各事業者の委受託に必要なデータ交換のための統一したシステムが存在しないため、データ交換のためのコンバートソフトをその都度作成しており、LPガス業界にとって大きな経費の損失と、共同化の遅れの原因の一つともなっています。

共同充てん配送の促進のために統一システムとしての共通フォーマットを作成

LPガス業界全体のコスト低減化を図ることを目的として、まずシステムの統一化を図り、バルク共同配送のための業界標準仕様となる共通フォーマット作成の取り組みをスタートさせました。さらに平成17年度にはシリンダー配送も含めたLPガス配送のバルクとシリンダーの総合的なローコストの配送システムが必要との考えのもと、平成13年度に当センターで作成したシリンダー共通フォーマットを現状に合わせ、改訂版の作成も実施しました。これらの共通フォーマットを利用することにより、共同充てん・配送の取り組みがより効率よく推進し、コストの低減化につながると思います。

委受託データを自動振分けする共通フォーマット仕様の振分システムを開発

また、エルピーガス振興センター(LPGC)は現状、受委託データ受け渡し方法がバルクはFAX、シリンダーがフロッピーといった旧態依然の方法が主流であるため、これらの改善システムツールとして、インターネット上のサーバーでデータの自動振分けを行う、LPGC仕様バルク・シリンダー供給共通フォーマット振分システムの開発も実施いたしました。

平成18年度はシステムの普及啓蒙活動を全国各地で実施中

平成18年度は、作成されたLPGC仕様バルク・シリンダー供給共通フォーマット及び、本システム仕様の振分システムの普及啓蒙を、(社)全国エルピーガス卸売協会様の協力のもと、北海道から沖縄まで18地区(24都道府県:396社554名)のLPガス卸売事業者の方々を中心に研修会を現在までに実施させていただきました。

〔普及説明会実施地域〕

| | 開催地域 | 開催日時 | 開催都市 | 出席人数 |
|---|------|-------|------|--------|
| 1 | 宮城県 | 7月28日 | 仙台市 | 11社13名 |
| 2 | 岩手県 | 8月3日 | 盛岡市 | 22社30名 |
| 3 | 長野県 | 8月21日 | 長野市 | 14社22名 |
| 4 | 四国地区 | 8月22日 | 高松市 | 29社31名 |
| 5 | 秋田県 | 8月23日 | 秋田市 | 19社26名 |
| 6 | 北海道 | 8月25日 | 札幌市 | 18社27名 |
| 7 | 山陰地区 | 9月4日 | 米子市 | 13社16名 |
| 8 | 岐阜県 | 9月5日 | 岐阜市 | 26社45名 |
| 9 | 石川県 | 9月6日 | 金沢市 | 14社27名 |

| | 開催地域 | 開催日時 | 開催都市 | 出席人数 |
|----|------|--------|------|-----------------|
| 10 | 茨城県 | 9月28日 | 水戸市 | 21社28名 |
| 11 | 東京都 | 10月12日 | 東京都 | 12社12名 |
| 12 | 沖縄県 | 10月23日 | 那覇市 | 20社20名 |
| 13 | 福井県 | 10月30日 | 福井市 | 11社21名 |
| 14 | 富山県 | 10月31日 | 富山市 | 20社41名 |
| 15 | 北九州 | 11月1日 | 北九州市 | 18社18名 |
| 16 | 中部地区 | 11月8日 | 名古屋市 | 95社132名 |
| 17 | 群馬県 | 11月15日 | 前橋市 | 16社16名 |
| 18 | 新潟県 | 11月21日 | 新潟市 | 17社29名 |
| | | | | 出席者計 : 396社554名 |

今後の開催予定地域

広島・山口地区 1月22日(広島市)
静岡地区 2月20日(静岡市)

LPガス業界として物流費削減のためには、LPGC仕様の共通フォーマットをデファクトスタンダードとすることが必要

LPガス事業者の皆様が、LPGC仕様バルク・シリンダー供給共通フォーマットをLPガス業界の統一したシステム(デファクトスタンダード)として導入いただくことにより、業界全体の物流費の削減・共同化促進へ貢献すると考えますので、是非とも導入のご検討をよろしくお願い致します。

設備助成事業室

< 補助金交付状況 >

昨年4月にスタートした各種補助金事業(「石油ガスコジェネ導入事業」、「石油ガス充てん所統廃合支援事業」、「高効率給湯器導入支援事業」)は順調に進捗し12月末現在以下の通りとなっています。

石油ガスコジェネ導入事業

25kWガスエンジン型コジェネシステム1件について交付決定し、現在設置工事実施中であり、本年2月末日までに事業が完了する予定です。(富山県:スーパー銭湯)

現在補助金枠に余裕がありますので、本年2月28日までに事業完了予定を条件に募集継続中ですので、申請をお待ちしています。

石油ガス充てん所統廃合支援事業

当事業が開始されて早くも3年経過し、当事業の最終年度となっています。12月までの申請状況は、当初の計画の26件を超え、又過去実績件数も超え30件(31箇所)となり、間接補助金予算も残り極く僅かな状況です。

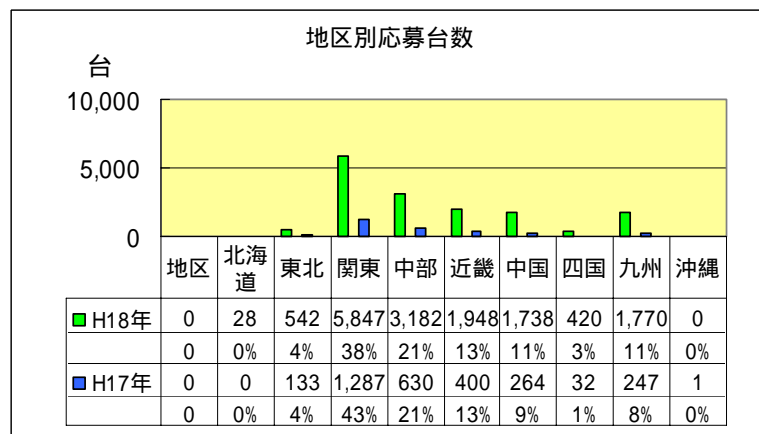
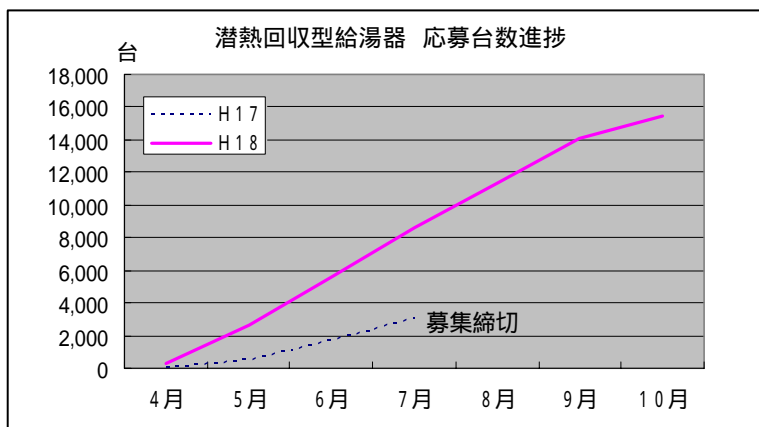
募集は19年1月19日が最終締め切り日ですが、これから申請される方は申請件数により予算上不採択の可能性もありますのでご了承ください。

高効率給湯器導入支援事業

潜熱回収型給湯器は、4月17日の募集開始から丁度半年の10月16日をもって予算枠に達したため、募集を締切りました。受理台数は15,475台で、昨年度(2,994台)の5倍以上となりました。

これはエコジョーズの品揃えが進んだことに加え、ユーザーの地球温暖化や省エネルギーに対する意識の高まり、ガス販売業者の取組みが積極的になったことなどが大きいようです。補助金申込みの事務代行を行なった業者数は約3,360事業所と昨年度の3倍となっており、エコジョーズに取り組む業者が広がっていることがわかります。

地区別の応募台数(グラフ参照)を見ると、一部を除いて各地区とも大きく台数が増えています。多い順では、関東、中部、近畿となっており、県別でも静岡、埼玉、愛知が1,000台を越える応募となっています。

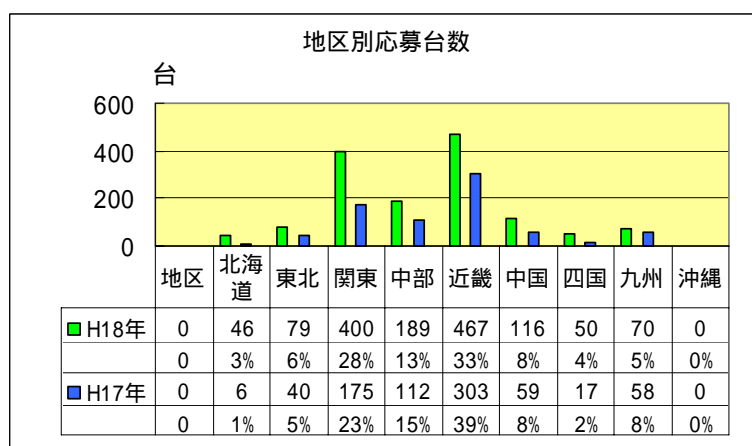
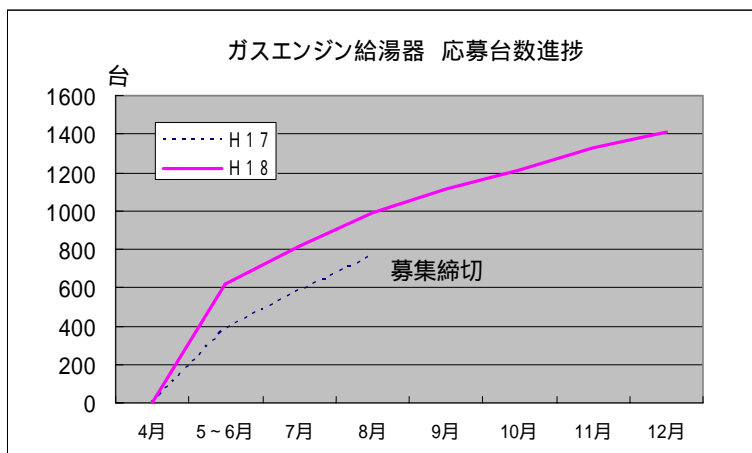


ガスエンジン給湯器は、12月末時点で1,400台を超える申込みを受理しています。これは、業界紙、全国紙の他、住宅関連紙誌に制度告知の掲載をするなどの効果が現れたものと考えています。

地区別の応募状況では、近畿地区が最も多く全体の30%を占めています。

北海道、東北地区の台数が伸びていないのは他燃料(灯油ボイラー等)を使用する家庭が多いのが要因の一つと考えられます。

昨年度の実績(770台)を大きく上回っておりますが、予算はまだ残っておりますので2月13日の締切りまで更に申込みされますようお願いしています。



< 地区別台数について >

12月までの地区別応募台数についてはグラフの通り、近畿地区が最も多く全体の約3割を占めています。

北海道、東北地区の数値が伸びていないのは、灯油給湯ボイラーの使用家庭が多くLPガスとのコスト比較で格差があり導入が伸びていないものと思われます。

事務局からのお知らせ

平成18年度第二回通常理事会・評議員会の開催案内

当(財)エルピーガス振興センターの平成18年度第二回通常理事会及び評議員会の開催を、下記に予定しています。

日時：平成19年3月15日(木) 評議員会 13:00～ 理事会 15:00～

場所：虎ノ門パストラル 新館6F(ペーシュの間)

議案：平成19年度事業計画及び収支予算

(予定) 平成18年度の事業進捗状況及び収支見通し(報告)

理事選任

評議員委嘱

その他(事務所縮小・改装 ほか報告)

平成20年度新規事業テーマ募集について(ご案内)

弊センターでは、LPガス関係業界の要望に沿うべく、従来より事業テーマを募集してご意見を寄せていただき、その内容を取りまとめて業界の要望テーマとして当局へ提出し、予算化と事業化に努めております。

今回は特に「平成20年度新規事業テーマ」の募集を行っておりますので、奮ってご応募をお願いいたします。

厳しい国の財政事情の中でのテーマの選定となるため募集テーマには、

1. LPガスの安定供給、流通合理化又は高効率化による省エネルギーに関すること
2. 国の関与する事業であることの必然性、妥当性があること
3. 受益者は、業界のみでなく不特定多数であること

等のような厳しい条件や制約が付され、厳選が求められています。センターとしてもテーマを応募頂いた時点で、こうした制約・条件への適合を様々な面から検討して、応募頂く方の考えや意見を反映させ、事業化につなげたいと考えています。ぜひ積極的なご応募をお願い致します。

平成20年度事業テーマ提案書に記載の上、平成19年2月28日(水)までに、ご応募下さいますようお願い申し上げます。(テーマ提案書ならびに詳細は、当センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい)

また、公益法人改革の中で、企業・団体からの委託につきましても、当センターの自主事業として注力して参りたく、これらに対するご提案も併せてお願い申し上げます。

事務所の改装について

昨年6月16日開催の当センターの平成18年度第一回通常理事会、評議員会にてご説明いたしました通り、平成19年度からは公益法人改革の進展にともない、補助金交付事業ができなくなる等、当センターの事業も大幅に減少する見通しにあります。

このため、当センターは、平成19年度以降も設立趣旨を堅持しながら、今後予想される事業収入のもとで、可能な限りの収支均衡を図るべく、事業の実施体制と組織の改編、事務所の見直し等の取り組みを進めております。

事務所につきましては、平成19年4月より現在の本部事務所(虎ノ門一丁目森ビル4F)機能を北西側に集約して、面積を6割程度に縮小するとともに、同月末日で設備助成事業分室(10森ビル8F)を廃止いたします。

事務所の縮小の大きなことは、3つありました会議室が1会議室になる点ですが、縮小後は外部の会議室を利用しながら、機能の低下や会員の皆様へのご不便が生じないよう、これまで以上に事業内容の充実をはかり、事務所の効率運用に努めてまいりますので、引き続きよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます、皆様には良い年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年来暖かい日が続いていましたが、本年に入ってやっと強力な寒波が押し寄せ冬らしい気候となり、LPガス業界には追い風の門出となりましたが、皆様には如何お過ごしでしょうか。

昨年は、LPガス業界は輸入価格の乱高下、燃烧器具の保安問題と多難な年でした。

そうした中で、皆様の今年に掛ける思い、LPガス業界の発展に対する期待は誠に大きいことと思います。

今年の(財)エルピーガス振興センターの事業環境は、公益法人改革の進展に伴い、少々厳しいのですが、今年もLPガス産業の振興に寄与するため、従来にも増して頑張っ参りたいと思っています。

本紙でご紹介したように事務所を改装する等により経営状況を改善し、補助金以外の事業を充実させ、皆様の期待に応えてゆきたいと思っています。

来る2月22～23日には、世界の有力なLPガス関係者を招聘し、「LPガス国際セミナー2007」を開催することとしています。産ガス国、消費国、トレーダー等LPガスの関係者を多く集める計画であり、このセミナーが世界のLPガス業界の発展のために真摯に検討する場となれば良いと考えています。

本年も多くの方々のご参加を宜しくお願い申し上げます。

設備助成事業室から「補助金の交付状況」についてご紹介しましたが、その中で、石油ガスコージェネ導入、ガスエンジン給湯器導入の補助金は予算枠が十分あります。今年度の応募も締め切り間近になってきましたが、皆様方の是非のご利用をお願いします。

また、LPガス業界の物流費削減のためには、各社が物流のために使用しているシステムのベース部分を出来るだけ共通化した統一のシステムとすることが必要です。

当センターは、平成15年度よりこの共通化システムの開発を進め、平成17年度に「LPGC仕様バルク・シリンダー共通フォーマット」を完成させています。

本紙では、その普及説明会の開催についてご紹介しましたが、LPガス業界挙げてこのLPGC共通フォーマットを使用いただき、LPガス業界の共通フォーマットとしてスタンダード化して、物流の共同化を進め、物流費の削減を遂げていただきたいと思っています。

最後になりましたが、本年がLPガス業界にとって良い年でありますよう祈念し、併せて本年も(財)エルピーガス振興センターを宜しくお願い申し上げます。





財団法人 エルピーガス振興センター

【本部】 〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 19 番 5 号 虎ノ門一丁目森ビル4F

TEL : 03 - 3507 - 0041 (代表)
03 - 3507 - 0046 (広報室)

FAX : 03 - 3507 - 0048 (代表)

【分室】 〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 18 番 1 号 虎ノ門10森ビル8F

TEL : 03 - 3507 - 0047 (設備助成事業室 潜熱回収型給湯器 担当)
03 - 5251 - 3040 (" ガスエンジン給湯器 担当)

FAX : 03 - 5251 - 3663 (設備助成事業室 潜熱回収型給湯器 担当)
03 - 5251 - 3044 (" ガスエンジン給湯器 担当)

ホームページURL : <http://www.LPgc.or.jp>

Eメールアドレス : info@LPgc.or.jp



送付先変更等のご連絡は、FAX又はEメールでお願いします。